

## 10 緑地と新田開発の歴史を訪ねる



所要時間 徒歩2時間30分

★237Kcal消費

布佐駅(南口)→①竹内神社→②宮ノ森公園→③布佐一里塚跡→④布佐市民の森→⑤浅間神社→⑥旧井上家住宅→⑦稲荷神社→⑧布佐文庫(市民図書館布佐分館内)→布佐駅(南口)

⑥旧井上家住宅(市指定文化財) Map G-5

井上家(4代目佐治兵衛)は享保期(1716~1736年)手賀沼干拓事業に参加。相島新田を開き、代々名主を務める。干拓は水との闘いで、昭和初期、12代井上二郎は土木技師だった経験を生かし、干拓に取り組み、その記念の碑(開発濟世の碑)がたつ。平成24年12月、市指定文化財(母屋、旧漕場、二番土蔵、新土蔵、表門、裏門、外堀、庭門、庭堀の9件)となった。

②宮ノ森公園 Map H-5

裏面の公共施設案内をご覧ください。

⑧布佐文庫(市民図書館布佐分館内) Map H-5

1902(明治35)年ころ、松岡鼎をはじめとする名望家が知識向上のため、文庫の設立を呼びかけ、自らが所蔵する書籍を提供し約5000冊を集めた。その書籍の内容は、医学書をはじめ漢籍など多岐にわたった。その後、多くが散逸。1994(平成6)年、市民図書館布佐分館に移管した時点で386点。

④布佐市民の森 Map G-5

布佐南近隣センターの南側に位置し、調整池を囲むように約700mの散策路があり、水鳥の観察などを楽しむことができる。この森では、毎年10月に国際野外美術展が開催される。

⑤浅間神社 Map G-5

浅間前地区の氏神様。草創は不詳。祭神は木花咲耶姫命。本殿は石段をのぼった15mの丘の上にある。神社の社には20種に及ぶ樹木。番外89番札所の大師堂が正面石段下にある。

## その他の見どころ (主に新木駅最寄り)

- 長福寺 大師堂銅板に十六羅漢透彫り。
- 千間堤跡 手賀沼干拓史に名を残す。
- 気象台記念公園 作家新田次郎が青年時代に勤務した気象台の跡地にできた公園。
- 頼朝の松 頼朝手植えの伝承。3~4代目が成育中。
- 布佐町道標 ●布佐台観音 ●布佐一里塚



長福寺・透彫り